



2025年大阪・関西万博の国連パビリオン

ユネスコ・キャンパス海洋環境教育(つなげよう いのちを育む海のバトン)

2025年7月21日、日本、大阪

コンセプト・ノート（2025年6月30日現在）

背景

ユネスコバンコク事務所は、株式会社ファーストリテイリングの支援により、中高生が海洋保全活動に関する知識と意識を高めることを目的とした「Sustaining Our Oceans: 持続可能な開発のための教育を通じた東南アジアにおける海洋との健全な関係構築」プロジェクトを実施しています。海洋は食料安全保障、沿岸保護、気候調整など、重要なサービスを提供しています。しかし、海洋ごみや気候変動などの人間の活動による劣化が、生物多様性、人々の生活、生態系サービスを脅かしています。ユネスコはこれらの課題への取り組みとして、世代を超えた知識移転に重点を置き、気候変動や環境問題に立ち向かう若い世代の力を高めることを目指しています。東南アジアと日本で実施されるこのプロジェクトは、教育を通じて生物多様性の保全と調和した革新的な解決策を推進するもので、実施期間は2024年1月から2026年1月です。

Sustaining Our Oceans プロジェクトは、インドネシア、タイ、ベトナムの若者を対象に、未来の海洋サステナビリティ・リーダーの育成に取り組んでいます。この取り組みでは、インドネシアのワカトビ生物圏保護区、タイのラノン生物圏保護区、ベトナムのカンザーマングローブ生物圏保護区とクーラオチャム・ホイアン生物圏保護区といった生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）を教育の場として、デジタルツールと実践的な体験を活用した革新的な教材を開発しています。日本では、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）が、ユネスコスクールの教師と生徒およびユネスコジオパークの参加を得て、このプロジェクトを実施しています。

さらに、ユネスコは2014年からユネスコ・キャンパス¹を通じて、世界中の中高生をオンラインで集めてきました。その目的は、若者に議論の機会や信頼できる知識を提供し、世界を理解するためのツールを提供することです。ユネスコ・キャンパスでは、主要な地球規模の問題に関する専門的な知識を共有してもらうため、市民社会から専門家を招きます。長年にわたり、新型コロナウイルス感染症や機敏な運営により、このプログラムは進化を遂げ、主要な問題に関する教師と専門家の交流機会を提供するという全体的な目標を活かし、影響力のある革新的な解決策を提案してきました。ライブ交流という特別な瞬間を実現し、質の高いリソース、教育ツール、教授法を共有しています。

ユネスコは日本における約1,000校のユネスコスクールネットワークを活用し、大阪・関西万博期間中にユネスコ・キャンパスを日本で実施します。

¹ <https://www.unesco.org/en/campus>

ユネスコは、日本ユネスコ国内委員会、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）と連携し、日本のユネスコスクールの中高生が専門家と交流できるイベントを開催します。

目的

この取り組みは、ユネスコの専門知識とネットワークを共有することにより、海洋保全に関するさらなるアドボカシーの機会を提供し、若者が重要な知識を習得し、専門家に質問したり、議論したりすることで、海洋と持続可能な開発における問題について理解をより深めることができるようにすることです。

期待される成果

このイベントを通じて、日本の中高生が、インドネシア、日本、タイ、ベトナムで実施されているユネスコの「Sustaining Our Oceans」プロジェクトについて学び、海洋や人との関わりについての知識を習得するとともに、若者が海洋保全活動に取り組むことを支援する様々なネットワークに関する情報を得ることができます。日本の若者との学習交流を通じて、海洋保全に関するアドボカシー活動が強化されることが期待されます。

イベント形式

大阪・関西万博の国連パビリオン内にあるイマーシブシアターにおいて中高生が専門家と交流するセッションです。

イベントの使用言語は日本語です。

プログラム（予定）

このセッションでは、海洋プラスチック汚染削減に向けた取り組みなど、海洋と持続可能性に関するトピックに焦点を当てます。ユネスコは「Sustaining Our Oceans」プロジェクトの経験を共有し、3名の専門家が日本の中高生と90分にわたり議論を行います。

パネリスト

1. 河瀬直美（映画監督／ユネスコ親善大使）
2. 田口康大（海洋教育専門家）
3. 中川夏舟（海洋環境保全に取り組む若手実践者）

日時と会場

2025年7月21日（月）13:00～14:30

大阪・関西万博の国連パビリオン内イマーシブシアター

参加者

日本のユネスコスクールに在籍する中高生30 - 40 名

主催者

このイベントはユネスコと公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）の共催、株式会社ファーストリテイリングによる協賛、日本ユネスコ国内委員会および公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の後援により運営されています。

連絡先

本イベントに関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

【日本語】 ユネスコ・アジア文化センター（ACCU） 藤本早恵子（webmaster@accu.or.jp）

【英語】 ユネスコバンコク事務所 萬理加（r.yorozu@unesco.org）